

制御の AZAPA、既存の Simulink®モデルから 自然言語で記載された仕様書を自動生成するツールの提供を開始



AZAPA 株式会社（愛知県名古屋市中区錦 2-4-15、代表取締役社長 & CEO 近藤康弘、以下 AZAPA）は、既存の Simulink®モデルから自然言語で記載された仕様書を自動生成する機能を追加した「AI-Modeling」の最新版の提供を本日から開始いたします。

昨今、数多くの企業がモデルベース開発（以下 MBD）を導入し、シミュレーションを活用したより効率的で高品質な製品開発に注力しております。加えて、MBD の活用は個社内に留まらず、技術提供のために企業間でモデルを流通させる活動も広がりつつあります。しかしながら、この MBD の普及はモデルを仕様書として扱うことが前提となっているため、過去に開発されたモデルや他社から提供されたモデルを解読するスキルを持ったエンジニアがまだまだ少ないこと、および、日常業務に圧迫されて教育に費やすための工数を捻出できないことが課題となっており、必ずしも効率的な製品開発とはいえない状況が顕在化しております。

こうした課題に対し AZAPA は既存のモデルや他社から提供されたモデルを、従来より多くのエンジニアが慣れ親しんだ自然言語で記載された仕様書へ自動変換するための機能の提供を開始しました。これにより様々なモデルの理解に要する時間を短縮し、

新たに追加する仕様の設計や影響先分析など、本来リソースをかけるべき工程へ集中できる環境を提供します。

モデル → 仕様書自動生成機能

本機能は、Simulink[®]モデルと定数などが定義されている MATLAB[®]スクリプトから各変数、定数、マップ情報およびモデル内処理を抽出し、自然言語で記載された仕様書を自動で作成します（図 1）。仕様書には「インターフェース（IF）一覧」「仕様」「定数表」などが記載されます。エンジニア 1 人が約 1 カ月かけてモデルを解読して仕様書を作成する業務が、この機能により約 1 日でツールからアウトプットされ、手修正などを加味しても 3 日程度で変換が可能となります。

【推奨動作環境】

- ・ OS : Windows 10 64bit
- ・ MATLAB[®] : Ver.2021a (64bit)

※その他推奨動作についてはお問い合わせください。

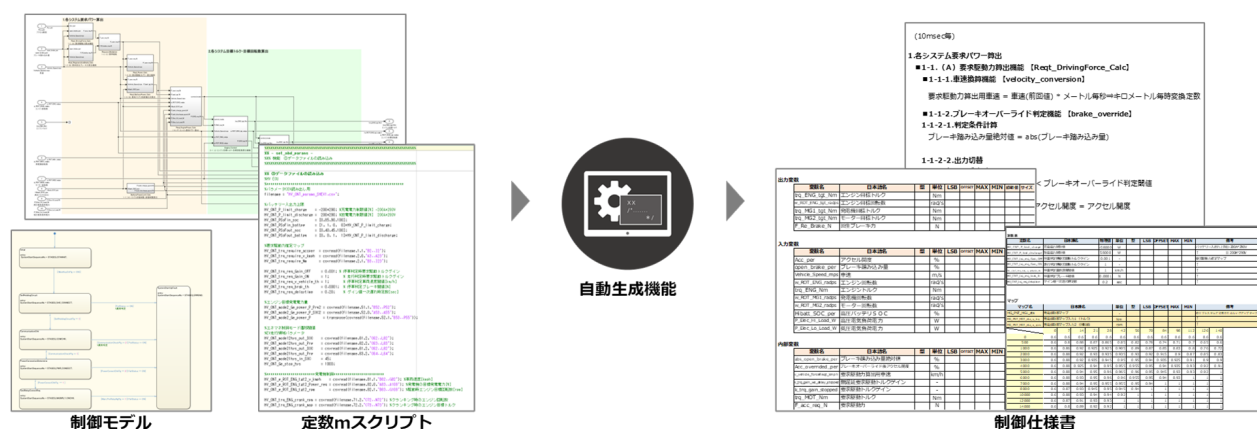


図 1. モデル → 仕様書自動生成機能概要

「AI-Modeling」とは



「AI-Modeling」は、自然言語で記載された制御仕様書から、Simulink[®]モデルの自動生成、モデル間の自動結線、制御モデルのカバレッジ検証および Simulink[®]モデルから制御仕様書の自動生成の 4 つの機能を MATLAB[®]スクリプトをベースに開発したツールです。（

図 2）

本ツールにより制御詳細設計プロセスの工程に合わせた半自動化を実施することで、シミュレーション環境を構築するまでのリードタイムが大幅に削減され、制御設計者が機能検証を即時に実施することで、MBDのメリットを最大化したより高度なアジャイル開発が実現します。

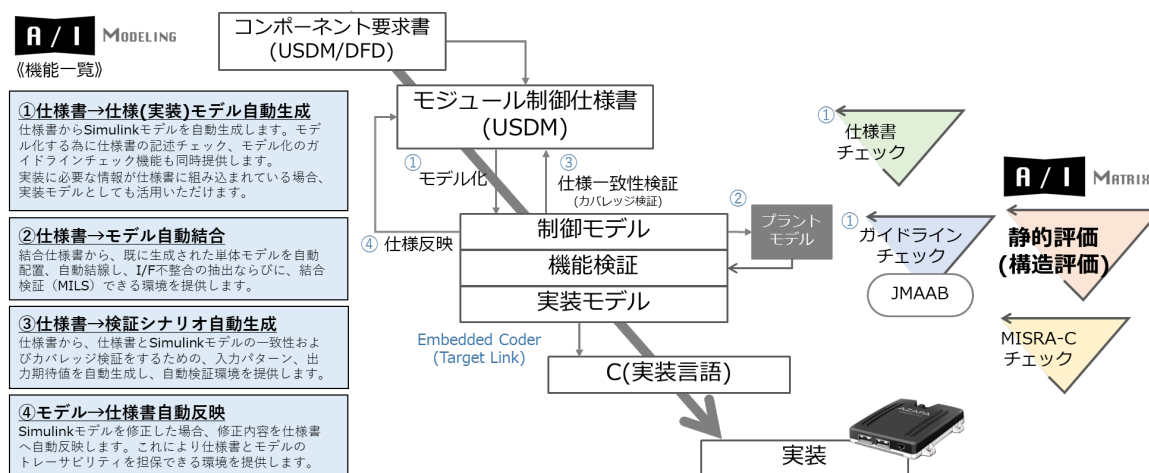


図 2. 制御開発プロセスにおけるツール機能

※「AI」は「AZAPA Integration」の略称です。

お問い合わせ先

AZAPA 株式会社

TEL : 052-221-7350

技術担当 : 平 龍将

E-mail : azp-sales@azapa.co.jp

メディア取材依頼はこちら

E-mail : azp-branding@azapa.co.jp

H P : <https://azapa.co.jp>

ソーシャルメディア :

Facebook : <https://www.facebook.com/azapacojp/>

Instagram : <https://www.instagram.com/azapa.official/>

YouTube : <https://www.youtube.com/channel/UCUmHYUJ1uOkIiaOH8uEw5qw>